

小・中学校教職員向け訪問プログラム

子どもの糖尿病について お困りごとはありませんか？



KiDS Project



小・中学校教職員向け「KiDS Project 訪問プログラム」内容

<概要>

糖尿病をもつ子どものよりよい学校環境をサポートすること、青年期における2型糖尿病の予防に貢献することを目的とした訪問プログラムです。専門医とインスリンメンター(*)が全国の学校に伺い、糖尿病の正しい知識や、糖尿病の患者さんが学校で直面している現状を教職員の皆様にお話しします。

- 受付：随時 ※日程はご相談ください
- 場所：貴校 ※講師が貴校に伺い訪問プログラムを実施させていただきます
- 対象：全国の小・中学校
- 時間：約70分 ※開催時間および所要時間は貴校のご都合に合わせて調整いたしますので、お気軽にご相談ください
- 定員：なし ※教職員の皆様にご参加いただけます
- 料金：無料

<「KiDS Project」訪問プログラムのお申し込み・お問い合わせ>

公益社団法人 日本糖尿病協会 担当：堀田

TEL:03-3514-1721 / FAX:03-3514-1725 / MAIL:office@nittokyo.or.jp

※受付時間：9:00～17:00

*日本糖尿病協会は、2015年より患者が患者を支援するピアサポートの取り組みとして、インスリンメンター制度を展開しています。インスリンメンターは、自らの経験をもとに、後輩患児のサポートや社会への糖尿病啓発を行います。



「糖尿病」について

糖尿病には、大きく分けて1型と2型の2種類の病型があります。日本では、全糖尿病患者の約95%が「2型糖尿病」です。

1型糖尿病

すい臓のβ細胞が破壊され、インスリンがほとんど分泌できなくなるタイプです。子どもや若い人に多く見られますが、中高年にもみとめられます。

2型糖尿病

インスリンの分泌量が不足したり、働きが悪くなるタイプです。おもに40歳以降に見られますが、若年発症も増加しています。

● ● ● 「KiDS Project」訪問プログラムでは、教職員の皆様のこんな疑問や悩みを解決します ● ● ●

体育の授業や宿泊学習などの学校行事には、他の生徒と同じように参加できる？

教室でインスリン注射を打っても大丈夫？

2型糖尿病を予防するために大切なことを教えてほしい

「KiDS Project」とは？



1型糖尿病の子どもをサポートし、学校に通う子どもたちに健康的なライフスタイルを啓発するため、国際糖尿病連合(IDF)と国際小児思春期糖尿病学会(ISPAD)、サノフィグループが2013年9月に「**KiDS Project**」を立ち上げました。

<世界のパートナー>



International
Diabetes
Federation



※「情報資料」の一例

日本では公益社団法人 日本糖尿病協会とサノフィ株式会社が協同し、訪問プログラムとさまざまな情報資料を通して、よりよい学校環境を支援しています。



日本糖尿病協会は、糖尿病を克服し国民の健康の増進に寄与することを目的に、「正しい知識の啓発」「患者・家族の療養支援」「調査研究」「国際交流」などの事業を行う公益社団法人です。患者さん、医療者、市民、企業が会員として活動しています。

資料のダウンロード

「**KiDS Project**」訪問プログラムの導入をご検討いただくにあたり、糖尿病の基礎情報や学校における正しい理解の必要性、「**KiDS Project**」の概要・訪問プログラムの実際の様子等を記載した資料をご用意しました。貴校内にて他の先生方へ訪問プログラムをご紹介いただく際にご活用ください。

資料は右記よりダウンロードいただけます。 <http://ur0.link/GgR0>

